



# JACET通信

大学英語教育学会

July 2006

The Japan Association of College English Teachers

No. 154

## 【巻頭言】

### 関東支部発足にあたって

関東支部長 石田 雅 近  
清泉女子大学

2005年5月まで関東甲越地区の運営委員長を務めておられた神保尚武先生が副会長に就任されたのに伴い、はからずも不肖私が関東支部長に選出されました。副支部長の中野美知子先生とご一緒に関東支部の教育研究活動と運営が滞らないことを念じつつ、及ばずながら責務を果たしたいと願っております。

関東支部の設立が決定されるまでには多くの議論が重ねられてきました。まず、2003年12月に6支部長と本部の担当理事で構成されたJACET将来構想委員会の第3次(2003年度)第2回会議が開催され、学会組織に関する慎重なる協議の結果、

2004年度4月から暫定名称の「関東甲越地区」が立ち上がり、運営委員会が組織されました。その後、2年間の移行準備期間を経て2006年度4月より正式に「関東支部」と名称を改め、JACETに第7番目の支部が発足するに至りました。これにより関東支部は関東地区(茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、新潟、山梨の1都8県)に勤務または在住する1,000名を超える最大規模の支部になりました。

関東支部発足までにはさまざまな準備が必要でありました。これまで縁のなかった「支部規約」を具体化する必要に迫

られ、全国 6 支部と調整を図りながら組織検討委員会を中心に作成することから始まりました。その結果、6 支部同様、関東支部でも独立した研究活動を行うとともに、その円滑な運営を図るために支部役員等の規定を含む 13 条からなる「支部規約」が出来上がりました。この規定内容に関して、特に関東地区会員の皆様にご理解いただきたいことをここであえて特記させていただくならば、関東支部発足以前は本部に所属していた関東地区の会員は、すべて「関東支部」に所属するという点に絞られるでしょう。

いろいろな経緯があましたが、ともあれ「関東甲越地区」に移行した 2004 年度には地区大会を開催しましたが、2005 年度は、支部発足に向けて事務処理等の本部との切り分け等を含めた準備作業を優先させなければならず、地区大会は行いませんでした。しかし、今年度は記念すべき支部発足第 1 回大会を、6 月 25 日(日)に早稲田大学において開催することが出来ました。大会テーマは「大学英語教育の再編ー求められるリメディアル教育ー」とし、基調講演には独立行政法人メディア教育開発センター小野博教授による「日本人の英語基礎学力の低下の現状と大学における改善策」でありました。大会掉尾の全体シンポジウムでは、基調講演を受けて「なぜ英語力は低下したのか」を中心に、中学校、高校、予備校、大学教員による現状報告・分析を踏まえて、英語教育の問題の核心に迫る論議が行われました。本大会では、研究発表 16 件、招待講演 1 件、シンポジウム 3 件、ワークショップ 1 件、招待講演 1 件、賛

助会員発表 2 件があり、参加総数も 224 名に及び、成功裡に終了しました。これも一重に、大会運営委員・実行委員各位の献身のみならず、支部発足に向けてご支援くださった多数の方々のお陰によるものと感謝申し上げます。

関東支部発足第 1 回大会の開催を機に、支部活動の発展を期すために検討すべきことが明らかになりました。従来からの本部の活動を損なわないように配慮しながら、支部としての研究・運営活動も更に充実して行く必要があります。本部と支部の両者の運営の切り分けについては、今後解決すべき課題も少なくありません。当面は、本部と支部の役員を兼務していただく関東支部所属の方々が出ることも十分予想されます。本部と関東支部の役員をそれぞれ数年程度で交代し、仕事の分担を明確化しながら、研究活動に支障をきたさないシステムを整えることが喫緊の課題でありましょう。

JACET は、今後とも日本の英語教育の前進に向け、その根幹に係わる実践研究を重ね、アジア近隣諸国のみならず世界の外国語教育や応用言語学の諸学会と協力しながら、活動を拡大充実させて行かなければなりません。関東支部の発足を契機に、全国会員諸氏の一層のご支援をお願い申し上げます。

## 本部便り

代表幹事 寺内 一・高千穂大学

2006年4月より本部代表幹事となりました寺内 一でございます。よろしくお願ひ申し上げます。5月末日に会員の皆様方に配信されました森住会長からの「学会の社団法人化に関するお知らせとお願ひ」に同封いたしました私からの「本部より」の中で本部の活動内容を簡単に説明させていただきました。

本号では、1)2006年に本部が予定しております各種の活動予定、2)「全国大会参加費」の払い込みについて、3)全国大会の『大会要綱』の事前払い込みについて、4)JACET事務局からのお願ひの4点を取り扱っております。

### 1)2006年本部活動予定

(運営委員会)

- ・総務委員会：全国理事会・評議員会・総会の準備、毎月第3土曜日の月例理事会と本部合同会議の準備、各委員会・各支部との調整、事務局の統括、その他
- ・財務委員会：年間予算・決算・監査
- ・全国大会運営委員会：全国大会の企画・運営（2006年度は2006年9月8日から10日まで関西外国語大学で開催）
- ・紀要委員会：年2回の『紀要』の発行
- ・広報通信委員会：『JACET通信』の発行
- ・事業委員会：サマーセミナーの企画・運営（2006年度は「L2リーディング教育の諸問題」で8月22日から25日まで草津

セミナーハウスで開催）、春季英語教育セミナーの企画・運営（2006年度は3月17日の予定（場所未定））

- ・ネットワーク管理委員会：HPの管理・運営、MLの管理・運営
- ・国際交流委員会：各提携学会との交流・代表の派遣
- ・研究会担当委員会：各研究会の活動のサポート

(特別委員会)

- ・組織構成委員会：学会全体としての方向性や指針の検討
- ・法人化準備委員会：学会法人化に向けての諸問題の検討
- ・実態調査委員会：日本の大学英語教育の実態の調査と把握、指針の提示
- ・テスト研究開発委員会：大学英語教育におけるテスト開発・分析・指針の提示
- ・授業学研究委員会：大学における英語授業のあり方の調査と提言

### 2)「全国大会参加費」の払い込みについて

全国大会に参加される方は以下の項目に応じて『大会プログラム』に同封されました「郵便振替用紙」でお支払ください。

・事前支払い

8月16日(水)までに「大会参加費（一般会員3,000円、学生会員2,000円）」をお振込みください。なお、団体会員・賛助会員（展示をしない場合）で大会に参加する場合は、その団体から2名の方が会員扱いとなりますので参加者名を記入して大会参加費3,000円を「郵便振替用紙」でお振込みください。発表者・司会

者の方は「大会参加費」の他に「年会費」の支払い(別途指定の振込み用紙にて)が必要です。忘れずにお振込みください。同じく懇親会に参加される方は「懇親会費 5,000 円」を同じ「郵便振替用紙」で振込み予約してください。但し、定員がありますのでお早めにお申し込みください。なお、「領収証」が必要な方には大会当日、受付にてお渡しします。

・大会当日支払い

大会当日受付での支払額は「大会参加費(一般会員・団体会員・賛助会員すべて 4,000 円、学生会員 3,000 円、非会員は一般 6,000 円と学生 4,000 円)」となります。同じく大会会場で受付される場合の懇親会費は 6,000 円になりますのでご注意ください。「領収証」が必要な方には大会当日受付にてお渡しします。

なお、大会当日、受付では「年会費」の支払いはできませんのでご注意ください。

3)全国大会の『大会要綱』の事前払い込みについて

今年度から「郵便振替用紙」による大会要綱の事前払い込みの取り扱いがなくなりました。大会に参加されずに『大会要綱』をご希望の方はJACET事務局全国大会運営委員会までメールかFAXにてご注文ください。

E-mail : [convention@jacet.org](mailto:convention@jacet.org)

FAX : 03-3268-9695

代金は 1 冊 1,500 円 (送料別) です。

4)JACET 事務局からのお願い

今年度から本学会の業務の合理化と効

率化を進めるために学会事務の一部、特に会員管理の部分を大学生協学会支援センターに委託しております。委託開始以来過渡期ということもあり皆様にはご不便をおかけしておりますがご理解の程よろしくお願い申し上げます。

・「年会費」の支払い

毎年 6 月末日までに「年会費」支払いのお願いをしまいましたが、今年度も同様に早い時期でのお支払いをお願いいたします。4月に皆様に配信されました「大学生協学会支援センター内大学英語教育学会名簿・会費係(担当:井手様)」の振込用紙をご使用ください。なお、同振込用紙を紛失なさった方は以下に連絡していただけますでしょうか。

TEL 03-5307-1175

FAX 03-5307-1196

E-mail : [jacet@univcoop.or.jp](mailto:jacet@univcoop.or.jp)

昨年度同様、当該年度の会費未納者の方へは会費が納入されるまで事務局からの発送物を停止させていただいておりますが、今年度も 10 月第 1 週に「督促状」の発送、その後 2 週間以内に納入されていない場合は発送の停止を行なうこととなります。また、本年度中にお支払いがない場合は会員資格を失いますのでご注意ください。

・『2006 年度大学英語教育学会(JACET)名簿』記載情報

2006 年度も『大学英語教育学会(JACET)名簿』を作成いたしますが、個人情報保護法の問題もあり、会員の皆様の掲載情報は原則として昨年度の版と同じ(氏名・Name・〒・自宅住所・自宅 TEL・自宅 FAX・Eメール・所属・所属

TEL・専門分野（①英語教育学、②英語・言語学、③応用言語学、④英米文学、⑤その他）にさせていただきます。今年度、掲載情報の変更を要望なさる方は以下の手続きをお取りください。

手続き：掲載情報の変更を8月15日まで（必着で締め切り厳守）に、「大学生協学会支援センター内大学英語教育学会名簿・会費係（担当：井手様）」宛に FAX03-5307-1196（『2005年度名簿』の当該ページをコピーし内容を修正したもの）でお送りください。E-mailでの受付は [jacet@univcoop.or.jp](mailto:jacet@univcoop.or.jp) になります。なお、今年度、新たに会員になられた方は、上記の記載情報を取捨選択し8月15日までに、「大学生協学会支援センター内大学英語教育学会名簿・会費係（担当：井手様）」宛に FAX03-5307-1196（上記の内容が含まれていれば書式自由）でお送りください。

ご協力とご理解の程よろしくお願い申し上げます。

支部便り

<北海道支部>

1. JACET 北海道・東北合同支部大会  
（第21回北海道支部創立20周年記念大会）

日時：7月8日（土）13:00 - 18:15

場所：函館市中央図書館

総会：支部規約の見直し、支部役員、前年度行事活動及び会計報告並びに監査報告。本年度行事予定及び予算の審議について  
A 会場研究発表 1：「小学校英語活動にお

ける外国人・非英語話者教師の意義」（宮曾根美香・東北工大、會澤まりえ・尚絅学院大）

研究発表 2：「中・高等教育における英語教員の専門的資質能力を問う－教師教育の視点から－」（小嶋英夫・弘前大）

研究発表 3：「事例報告：北海道大学英語 II オンライン授業の試み」（河合靖・北海道大）

B 会場研究発表 1：「主たる使用言語を英語とした授業における教員の補助的な日本語使用の効果－アンケートを通して学生の反応を探る－」（倉内早苗・青森公立大）

研究発表 2：「Brazil の音調理論の有用性について－談話のイントネーションの英語教育への適用－」（伊関敏之・釧路工業高専）

研究発表 3：「北海道内の社会人調査と事業所調査から見た英語のニーズ」（内藤永・旭川医大、吉田翠・天使大、坂部俊行・道都大）

C 会場研究発表 1：「"Corpus Linguistics: Technology Brings Revolution to English Teaching"」（成沢義雄・東北学院大）

研究発表 2：「企業現場につながる英語とは？－製造とビジネス現場における ESP 実態から」（山崎敦子・ものづくり大、齋藤早苗・東海大）

研究発表 3：「下田歌子と外国語教育」（石川祥一・実践女子大）

シンポジウム：「北海道・東北「英語教育」事始め・・・そして今」（「箱館&函館関係の英語教育事始めについて」井上能孝・函館大、「東北の英学に見られる英

語教育事始について一斎藤秀三郎と英語辞書」千葉元信・宮城工業高専, 「札幌農学校に見られる英語教育事始めについて」西堀ゆり・北海道大)

講演:「高等教育における英語授業学:その現代的意義と課題」(森住衛・JACET会長・桜美林大)

## 2. 研究会の開催

### a) 2005 年度第 3 回研究会

日時: 2月18日(日)13:00 - 15:00

場所: 藤女子大

研究発表:「母国語(日本語)と外国語(英語)の読解における読者の知識—テキストタイプ、テストタイプの影響について」(竹内康二・札幌国際大短大)

講演(ビデオ):「Five Features of a Superior CALL Facility: A Case Study of the CALL Facility of the University of Victoria, BC, Canada」(Sandra Fotos・専修大)

コロキアム:「外国語教育としてのCALLデザインを考える?各大学の事例をもとに一」(司会:西堀ゆり・北海道大, 事例発表:河合靖・北海道大, 田原博幸・札幌大, 早坂慶子・北星学園大, 宮町誠一・札幌学院大)

### b) 2006 年度第 1 回研究会

日時: 6月17日(土)13:00 - 14:00

場所: 北海道大

研究発表 1:「テキスト分析ソフトKensakuのJACET8000語に対応したヴァージョンアップについて」(佐々木勝志・北海道武蔵女子短大)

研究発表 2:「授業学研究会による模擬授業について」(塚越博史・北海道医療大)

## 3. 支部役員会の開催

### a) 2005 年度第 4 回役員会

日時: 2月18日(日)15:00 - 17:00

場所: 藤女子大

支部規約の改正について, 招待講演者及び発表司会者 5 名の推薦について, 平成17年度決算について, 18年度の予算について

### b) 2006 年度第 1 回役員会

日時: 4月22日(土)14:00 - 17:00

場所: 藤女子大

春季理事会・各種委員会報告, 支部規約について, 支部大会について

### c) 2006 年度第 2 回役員会

日時: 6月17日(土)14:00 - 17:00

場所: 北海道大

全国理事会・次年度東北支部との合同支部大会・国際交流委員・全国大会司会報告, 支部大会, 支部規約, 支部役員, 予算・決算, 研究会運営委員会

## 4. 紀要およびニューズレターの発行

Research Bulletin of English Teaching 第3号が3月30日付けで, JACET 北海道支部ニューズレター第19号が4月31日付けで発行された。

(河合靖・北海道大)

### <東北支部>

#### 1. 支部役員会

4月22日(土)12:00-15:00 仙台市民会館

東北支部4月臨時役員会が仙台市民会館第7会議室で開催された。以下の点について協議した。



北海道支部との合同支部大会(7月8日、函館で開催予定)について

前年度決算・監査、今年度予算・活動計画・役員案、支部通信 No. 31 の発行について

学会活動の活性化について

東北支部規約の改定について

その他、JACET の社団法人化について  
支部長から報告があった。

7月8日(土) 12:00-12:30 函館市函太郎

東北支部7月役員会が函館市で開催される。

## 2. 支部大会

支部大会は例年は6月上旬に開催されるが、今年度は北海道支部との合同大会として7月8日(土)に函館市で開催される。

### 東北・北海道支部合同支部大会

7月8日(土) 13:00-18:45 函館市中央図書館 視聴覚ホール・研修室  
研究発表

- (1) 宮曾根美香(東北工業大学)・會澤まりえ(尚絅学院大学) 「小学校英語活動における外国人・非英語話者教師の意義」
- (2) 小嶋英夫(弘前大学) 「中・高等教育における英語教員の専門的資質能力を問う—教師教育の視点から—」
- (3) 河合靖(北海道大学) 「事例報告:北海道大学英語Ⅱオンライン授業の試み」
- (4) 倉内早苗(青森公立大学) 「主たる

使用言語を英語とした授業における教員の補助的な日本語使用の効果—アンケートを通して学生の反応を探る—」

- (5) 伊関敏之(函館工業高等専門学校) 「Brazilの音韻理論の有用性について—談話のイントネーションの英語教育への適用—」
- (6) 内藤永(旭川医大)・吉田翠(天使大学)・坂部俊行(道都大学) 「北海道内の社会人調査と事業所調査から見た英語のニーズ」
- (7) 成澤義雄(東北学院大学) “Corpus Linguistics: Technology Brings Revolution to English Teaching”
- (8) 山崎敦子「ものづくり大学」・齋藤早苗(東海大学) 「企業現場につながる英語とは?—製造とビジネス現場におけるESP実態から」
- (9) 石川祥一(実践女子大学) 「下田歌子と外国語教育」

### シンポジウム

テーマ:「北海道・東北「英語教育」事始め・・・そして今」

講師:

井上能孝(函館日米協会副会長、函館大学) 「箱館&函館関係の英語教育事始めについて」

千葉元信(JACET東北支部長・宮城工業高等専門学校) 「東北の英学に見られる英語教育事始めについて—齋藤秀三郎と英語辞書」

司会・講師:

西堀ゆり(JACET北海道支部長・北海道大学) 「札幌農学校に見られる英語教育事

始めについて」

講演

講師：森住衛（JACET会長・桜美林大学）

演題：「高等教育における英語授業学：  
その現代的意義と課題」

### 3. 今後の予定

7月8日（土）に東北支部7月役員会および東北・北海道支部合同支部大会が函館で開催される予定である。また、月例会を10月に秋田で、12月に仙台で開催する計画である。支部通信No. 31とNo. 32がそれぞれ8月、2月に発行される予定となっている。

（富田かおる・山形大、宮城工業高専・岡崎久美子）

### <関東支部>

6月25日（日曜）に、早稲田大学において、第1回関東支部大会が開催された。基調講演、招待講演、全体シンポジウム、ワークショップ、研究発表、賛助会員発表に加えて、共催者である早稲田大学からは、中野美知子教授を中心として2つの早稲田大学シンポジウムが企画された。前期末に近づき多忙な日々であるにもかかわらず、出席者は200名を超える盛況であった。

同日、第1回関東支部総会が開催された。議長には三好重仁（東京電機大学）、副議長には岡田礼子（東海大学短期大学部）が選出された。2005年度関東甲越地区運営委員会の活動報告、2006年度関東支部活動予定が報告された。2005年度の会計報告と監査報告があり、承認された。

2006年度の予算案も承認された。関東支部規約案と人事案も承認された。2006年度と2007年度の2年間は、支部長は石田雅近（清泉女子大学）、副支部長は中野美知子（早稲田大学）、支部代表幹事・事務局長は中尾正史（桐朋学園芸術短期大学）、副代表幹事は中里喜彦（東海大学）と塩沢泰子（文教大学）という体制となった。

（桐朋学園芸術短期大学・中尾正史）

### <中部支部>

#### 1. 2006年度 中部支部大会

日時：6月10日（土） 9:30-19:30

会場：中部大学春日井キャンパス

テーマ：「大学英語教師が果たすべきことは何か」

#### 1) 公開講演

講師 Beniko Mason（四天王寺国際仏教大学）

演題 「多読の効果に対する疑問への回答」

#### 2) シンポジウム

「大学英語教師が果たすべきことは何か」

司会：塩澤正（中部大学）

パネリスト：日野信行（大阪大） 三宅なほみ（中京大） 岡田伸夫（大阪大）

#### 3) ワークショップ 「ESP 教育の汎用性」

滝川桂子（名古屋文理大） 小澤淑子（愛知きわみ看護短大） 高木久代（鈴鹿医療科学大）

#### 4) 研究発表 4件

2006年度の中中部支部大会は緑に囲まれ



た中部大学を会場に開催された。100 名余りの参加者を得て、「大学英語教師が果たすべきことは何か」をテーマに、午前中には研究発表 4 件、午後には公開講演、シンポジウム、ワークショップが催された。懇親会まで盛会のうちに終了した。

## 2. 2006 年度支部役員会

### 第 1 回支部役員会

日時：4 月 15 日（土） 14:00-17:00

場所：中部大学春日井キャンパス

報告事項：本部報告

協議事項：

- 1 支部大会の司会について
- 2 2005 年度会計決算中間報告
- 3 支部大会プログラム
- 4 ニュースレターについて

### 第 2 回支部役員会

日時：5 月 6 日（土） 14:00-17:00

場所：中部大学春日井キャンパス

報告事項：理事・運営合同委員会（本部）

協議事項：

- 1 支部大会の司会・プログラム
- 2 2005 年度会計決算報告
- 3 中部支部紀要投稿料・投稿締め切りについて
- 4 ニュースレターについて

## 3. 中部支部紀要

投稿締め切りは 6 月 30 日

## 4. JACET-Chubu Newsletter

第 16 号が 5 月 13 日に発行された。

（村田泰美・名城大）

## <関西支部>

2006 年度 関西支部役員（異動・新任のみ）

○役員

【支部長】木村博是（近畿大学）

【理事】原田園子（神戸女学院大学）、南出康世（大阪女子大学名誉教授）、野口ジュディ・津多江（武庫川女子大学）

【支部幹事】長谷尚弥（関西学院大学）、窪田光男（関西外国語大学）

【評議員】相川真佐夫（京都外国語短期大学）、藤林富郎（千里金蘭大学）、松浦勉（大阪青山短期大学）、菅山謙正（京都府立大学）、竹内理（関西大学）

【研究企画委員】東眞須美（神戸芸術工科大学）、林桂子（広島女学院大学：委員長）、井村誠（大阪工業大学）、泉恵美子（京都教育大学）、甲斐雅之（京都女子大学）、川越栄子（神戸市看護大学）、村上裕美（関西外国語短期大学）、新田香織（近畿大学）、杉森直樹（立命館大学）、東郷多津（京都ノートルダム女子大学）

【支部監事】高木佐知子（大阪府立大学）

○本部運営委員会

【総務委員会】小栗裕子（滋賀県立大学）

【財務委員会】佐藤恭子（プール学院大学）

【全国大会運営委員会】小栗裕子（滋賀県立大学）

【広報・通信委員会】奥田隆一（和歌山大学）、山本英一（関西大学）

【ネットワーク管理委員会】石川慎一郎（神戸大学）

【紀要委員会】菅山謙正（京都府立大学）

【事業委員会】窪田光男（関西外国語大学）

【大学英語教育学会賞選考委員会】貫井孝典（千里金蘭大学）

○本部特別委員会

【組織構成委員会】木村博是（近畿大学）

○関西支部紀要委員

菅山謙正（京都府立大学：委員長）、今井裕之（兵庫教育大学）、門田修平（関西学院大学）、竹内理（関西大学）

主な行事

1. 2006 年度春季大会：2005 年 6 月 3 日（土）10:00 - 17:50：於、立命館大学  
テーマ：「英語教育の改革—今求められるそのニーズと実践—」

1) ワークショップ 1 学習者の自立を促進するプレゼンテーション授業：幸重美津子（京都外国語大学）、大内和正（大阪産業大学）、松村優子（近畿大学）、仲川浩世（関西外国語大学）

2) ワークショップ 2 よりよい大学授業のために—「授業学」を考える III：木村博是（近畿大学）、志水麻衣子（甲南女子大学・非）、神野雅代（四天王寺国際仏教大学）、西田晴美（愛知大学）、田村朋子（関西外国語大学短期大学部・非）

3) ワークショップ 3 どういう英語を教えるか—英米語・地域英語・国際英語—：成田一（大阪大学）、日野信行（大阪大学）、中井富紀（松山大学・愛媛大学・非）、鈴木規巳洋（京都橘大学）、参与者：揚野貴志（TOEIC 運営委員会）

4) 2005 年度支部総会

5) 研究発表 4 件、実践報告 2 件

6) シンポジウム これからの大学英語教育を変える—ESP を知る：モデレーター：横川博

一（神戸大学）、パネリスト：岡本真由美（摂南大学）、上村バックス尚美（関西大学）、野口ジュディー（武庫川女子大学）、深山晶子（大阪工業大学）

今回の春季大会は立命館大学を会場に開催された。天候は悪かったにもかかわらず、多数の参加者を得て、「英語教育の改革—今求められるそのニーズと実践—」をテーマに、午前中にはワークショップ 3 件、午後には研究発表 4 件、実践報告 2 件が行われ、その後、シンポジウムが開催され、盛会のうちに終了した。

2. 第 1 回研究企画委員会：2006 年 6 月 3 日（土）11:50 - 12:40：於、立命館大学  
議題：2006 年度研究企画委員会委員と委員長について、その他。

3. 第 1 回運営委員会 2006 年 6 月 3 日（土）14:30 - 15:00：於、立命館大学  
議題：支部役員人事について、関西支部規約改定について、その他。

今後の予定

2006 年度第 1 回談話会：2006 年 7 月 1 日（土）16:15 - 17:45：於、関西外国語大学

講師：東真須美氏（神戸芸術工科大学）

演題：「TEFL におけるメタフォリカルコンピテンスの研究」

（奥田隆一・和歌山大学）

<中国・四国支部>

平成 18 年度第 1 回役員会

日時：2006 年 6 月 10 日（土）

場所：就実大学 B 棟（B303）

## 審議事項

- (1) 2005 年度事業報告
- (2) 2005 年会計報告
- (3) 2006 年度事業計画
- (4) 2006 年度予算案
- (5) 支部役員の交代案
- (6) 支部規約の改定案
- (7) 各種委員会提案
- (8) その他

## 報告事項

- (1) 2005 年度春季理事会について
- (2) その他

## 第 23 回 JACET 中国・四国支部大会

日時：2006 年 6 月 10 日(土)

会場：就実大・就実短大 R 館

[1] 研究発表司会 (10:00-12:00) : 高橋俊章(山口大)

- 1) 「記述された speech の正確度と複雑度の分析」村上博子
- 2) "The Application of Phonics to the Teaching of Reading and Writing in Junior High School English Classes in Japan" 武田千代城 (愛媛県立八幡浜高等学校)
- 3) 「音読練習に関する仮説」宮迫靖静(岡山南高等学校)
- 4) 「ダールの短編小説における技巧と階級の描写について」田淵博文(就実大学・短期大学)

[2] 研究発表 (10:00-12:00) 司会 : 西田正(広島大)

1) "Consensus Building for Curriculum Improvement Based on Evaluation of Student Achievement in the

Department of English, Faculty of Letters, National University of Laos (NUOL)" Thongsouk Keomany(IDEA, Hiroshima University, (Department of English, Faculty of Letters, National University of Laos (NUOL))

2) "Investigating Proficiency Levels, Gender and Language Learning Strategies of Japanese University Students" Kusumi Vasantha Dhanapala & Tadashi Nishida (IDEA, Hiroshima University)

3) "How Culture Has Been Perceived and Practiced among Japanese 'intercultural communicators'" 平松進(岡山大学非常勤講師)

4) 「愛媛県の中学校・高等学校における英語辞書指導」寺嶋健史(松山大学)

[3] 講演

「会話英語の学び方、教え方」豊田昌倫(関西外国語大)

[4] パネルディスカッション

司会・進行：松岡博信(安田女子大)

テーマ：「英語リメディアル(remedial)教育の現状と課題」

パネリスト：中村朋子(広島国際大) 西岡啓二(岡山理科大)

大会研究発表の概要等は支部ホームページを参照のこと。

<http://ds21.cc.yamaguchi-u.ac.jp/~bld10/JACET/JACET.html>

(鳥越秀知・詫間電波高専)

<九州・沖縄支部>

1. 第58回東アジア英語教育研究会

日時：3月11日（土）15:30～17:30

場所：西南学院大学1号館205号教室

発表者：井上育子（椎田小学校）・田久保千之（久留米大学附設高校）

発表題名：「ネパールの英語教育事情」・  
「上海中学との交流事業---紹介及び上海中学生の英語力分析（本校生との比較研究）1」

2. 支部ニューズレターNo. 22

4月15日発行

3. 平成18年度第1回運営委員会

日時：5月13日（土）11:00～12:00

場所：西南学院大学学術研究所大会議室

報告：

1)組織構成委員会及び春季全国理事会について

2)Asia TEFL2006について

3)支部ニューズレターNo. 22について

4)会員登録数について

議題：

1)紀要11号について

2)今後の開催について

4. 春季支部総会

日時：5月13日（土）13:00～13:50

場所：西南学院大学2号館304号教室

5. 春季学術講演会

日時：5月13日（土）14:00～15:20

場所：西南学院大学2号館304号教室

発表者：山内ひさ子（久留米工業大）・  
中野秀子（九州共立大）・小田まり子（久

留米工業大）

発表題目：国際化時代に企業が求めている人材：海外進出の日本企業と日本進出の海外企業の取材を通して

6. 第59回東アジア英語教育研究会

日時：5月27日（土）15:30～17:30

場所：西南学院大学1号館205号教室

発表者：米岡ジュリ先生（熊本学園大）

発表題名：Using Linguistic Auditing to Discern the Language Needs of Tourist Industries in Rural Japan: The Case of Kumamoto（言語監査による熊本の観光事業の言語ニーズ調査）

7. 平成18年度第2回運営委員会

日時：6月17日（土）14:00～15:30

場所：西南学院大学学術研究所小会議室

報告：

1)Asia TEFL2006について

2)その他

議題：

1)紀要11号について

2)次期役員について

3)PKETAへの代表派遣について

8. 第60回東アジア英語教育研究会（予定）

日時：7月15日（土）15:30～17:30

場所：西南学院大学1号館205号教室

発表者：平井清子（北里大）

9. 平成18年度第3回運営委員会（予定）

日時：8月30日（水）14:00～

場所：西南学院大学学術研究所

（志水俊広・九州大）

## 委員会報告

### <国際交流委員会>

JACETは、来る平成18年8月18日～20日に西南学院大学において開催される第4回AsiaTEFLの後援団体となっています。学会代表として森住会長を派遣することになっており、森住会長は授業学についての特別講演をされます。

このAsiaTEFLは2003年3月に韓国・釜山のKorea Maritime UniversityのHyo Woong Lee教授がアジア全域の英語教育界の指導者に呼びかけて発足した学会で、小池生夫JACET元会長は副会長としてLee会長を補佐されています。第4回大会ではPlenary SpeakersとしてWilliam Grabe教授(Northern Arizona University, U.S.A.)、川島隆太教授(東北大学)、Alastair Pennycook教授

(University of Technology Sydney, Australia)、Lee Won-key教授(Seoul National University of Education, Korea)、Annie Hughes教授

(University of York, U.K.)、John Sinclair教授(University of Birmingham, U.K.)を迎えます。また、Featured Speakersとしては小池生夫教授(AsiaTEFL副会長、明海大学)、Yeon Hee Choi教授(Ewha Womans University, Korea)、QiufangWen教授(Beijing Foreign Studies University, China)、Ravinder Gargesh教授

(University of Delhi, India)、Malachi Edwin Vethamani教授(University of Putra Malaysia, Malaysia)、Phyllis

Ghim Lian Chew教授(Nanyang Technology University, Singapore)、Arifa Rahman教授(Presidency University, Bangladesh)、Sabiha Mansoor教授(Aga Khan University, Pakistan)が予定されています。JACET会員でAsiaTEFLの会員となっている人は多く、研究発表を行う予定の人も多いようです。国際色豊かな大会なので、ぜひJACET会員の大会参加を勧めます。詳細はホームページ([www.asiatefl.org](http://www.asiatefl.org))をご覧ください。第44回JACET全国大会への交流提携団体からの招待講演者はIATEFLからWendy Arnold氏、RELCからはGreame Cane教授、KATEからはJeong-ryeol Kim教授、ALAKからはSeongwon Lee教授、ETC・ROCからはYiu-nam Leung教授とKai-chong Cheung教授の予定です。また、交流提携団体の年次大会への今年度のJACET代表者はIATEFLが村田久美子先生、RELCは神保尚武先生グループと鈴木広子先生グループの2組6名がすでに派遣されています。これらの大会の報告書はすでにJACETのホームページに掲載されていますので、御一読をお願いします。

(山内ひさ子・久留米工業大学)

## 編集後記

授業と校務に追われ、気がついたら、あっという間に7月になっていました。大学教員は、いつからこんなに忙しくなったのでしょうか。私が学生の頃の先生方は、ずいぶん余裕があったように見えたのですが。

---

編集：中鉢惠一（東洋大学）

中里喜彦（東海大学）

---

2006年7月1日発行

発行者 大学英語学会（JACET）

代表者 森住 衛

発行所 〒162-0831 東京都新宿区横寺町 55

電話(03) 3268-9686 FAX(03) 3268-9695

<http://www.jacet.org/>

印刷所 〒228-0021 座間市緑ヶ丘 3-46-12

有限会社 タナカ企画

電話 (046) 251-5775

---